

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 開会宣告
- ・ 議題の確認

1 調査事件

(1) 函館駅前東地区市街地再開発事業の現状および公共施設設置の検討について

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 議題宣告
- ・ 本件については、4月27日付で経済部及び都市建設部から資料が配付されているので、説明を受けるため理事者の出席を求めたいと思うが、よろしいか。（異議なし）
- ・ 理事者の入室を求める。

（経済部・都市建設部 入室）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ それでは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、着席したまま説明をお願いする。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 資料説明：函館駅前東地区市街地再開発事業の現状および公共施設設置について
（令和3年4月27日付経済部及び都市建設部調製）

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ お聞きのとおりだが、ただいまの説明について、各委員から何か発言あるか。

○遠山 俊一委員

- ・ 何点かお伺いする。再開発準備組合では建設事業費の総額を概算で190億円を見込んでいるというような新聞報道があったが、それに伴って市は昨年度4,800万円、今年度で1億8,320万円を予算計上している。その総額のうちの程度市の財政支援を見込んでいるのかお伺いする。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 事業としては、補助金として総額で25億円を見込んでいる。

○遠山 俊一委員

- ・ それともう一点、準備組合のほうから図書館機能、交流機能を有する公共施設の設置について市に要望があり、それを踏まえて市としてはにぎわいを創出するために大門地区にふさわしい公共施設が必要であり、今後検討していくという話があったが、どのような検討がされているのかお伺いする。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 公共施設の機能についてだが、準備組合から図書館機能、交流機能を持つ公共施設の設置について要望があった。それらを踏まえ、公共施設の機能を検討しようとしているところだ。具体的には、本町シエスタハコダテに設置しているGスクエアや亀田交流プラザのような施設をイメージしているが、函館駅前・大門地区の特性を踏まえ、市民・観光客・ビジネス客など多くの方が世代や性別を

超えて集い、交流できる施設が必要と考えており、詳細については今後検討してまいりたいと考えている。

○遠山 俊一委員

- ・ 周辺地域の公共施設の統廃合も考えているということも書かれているが、周辺地域の公共施設というのはどのような施設を想定しているのか。統廃合するためにはかなりのスペースを見込まなければ統廃合できないと思うが、その辺はどのように考えているのか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 新たな公共施設の機能は準備組合から要望があった図書館機能、交流機能を持つ施設や、また、立地適正化計画において都市機能誘導区域への立地が望ましいとされる福祉・文化交流・教育などの機能を有する複合施設も視野に入れるほか、函館駅前・大門地区の特性も踏まえ、あらゆる角度から検討し、その機能に応じて統廃合が可能になる周辺地域の公共施設について、今後検討してまいりたいと考えている。
- ・ また、フロア・施設の規模についてだが、今準備組合から示されているのが、1フロアあたり1,300平米と伺っている。必要な機能については、新たな公共施設が持つ機能や役割に応じて必要な面積を精査し、事業者とも相談しながら検討してまいりたいと考えている。

○遠山 俊一委員

- ・ 公共施設の統廃合について具体的にこの施設を統廃合してここに持ってこようという具体案はまだ示されていないのか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 新たな施設が持つ必要な機能や役割を考えて、その後に統廃合する公共施設を検討してまいりたいと考えている。

○板倉 一幸委員

- ・ 経済建設常任委員会でこの件について資料をいただきながら議論をしてきたが、今回新たに出されてきた資料はこれまでの再開発事業に関わる資料と何か変わっている点はあるのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ これまで事業が計画されてから何回か資料を提出させていただいているが、これまで委員会に提出させていただいていた資料はあくまで準備組合から情報提供があったということで事業計画等の資料の提出をさせていただいたところだ。今回については市として都市計画の決定を受けて、計画の状況、あと、市として公共施設を整備するという検討を行うということで、市としての考え方を示したというのがこれまでの提出した資料との違いであると考えている。

○板倉 一幸委員

- ・ 市としての考え方を示したということだが、先ほどの遠山委員の質問の中で、公共施設についての話があったが、公共施設について準備組合からも要望があったということだが、準備組合の中でどのような議論や検討がなされて、今回の図書館機能やあるいは交流機能を要望することになったのか、そのことについてお聞かせ願う。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ これまで準備組合において、ホテル・マンションを中心として市民広場を整備するというような内容を議論してきたところだが、市民の方に来ていただくためにはどういう施設があったらいいかということも議論されてきたところだ。公共施設が整備されることにより、観光客やビジネス客だけではなくて、市民の方の来街の機会も増加するというところでこのたび市のほうに図書館機能や交流機能を有する施設を誘致したいということで要望があったところだ。

○板倉 一幸委員

- ・ 準備組合からするとそうした公共施設が入ったほうがいいと考えられて、これまでのキラリスやシエスタのような施設を考えると、民間単体よりも市民の方が来る機会が増えるということは理解できる。ただ一方、亀田交流プラザを建設するときに従来あった亀田福祉センター内の図書館を閉鎖して——今は図書コーナーだが——そういうようなことがなされてきたことを考えると、市としてそうした機能を、どう市として維持していくのか、あるいは展開していくのかということは、筋を通すことが必要だと思っているので、申し述べておく。
- ・ 先ほども具体的な公共施設として何をそこに設置していくのかという話があり、同時に周辺の公共施設の統廃合についても検討するというお話があったが、設置をすることを市としては望んでいるということではないのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 市街地再開発事業において、基本的に市として公共施設を設置したいということで今回資料を提出させていただいたところだ。

○板倉 一幸委員

- ・ 具体的にはどういう施設を設置するか、そのことによって統廃合があるのかなのかということも決まってくると思うので、今の時点でどの施設を統廃合するというのは未定だと思うが、統合するかしないかは別として周辺地域の公共施設というのは、何があるのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 周辺の公共施設ということで、どこまでを周辺なのかということにもよりけりだと思うが、当然図書館機能が核となって検討するわけだが、それについては、周辺には千歳図書室があるほか、性別や世代に限らず交流できる施設としては例えば女性センターや東川の児童館、老人福祉センターといったものがある。どの施設ということではなくて、すべからくどの施設が統合できるのか、その中で検討できる施設については全てまずは検討をさせていただき、その上でどういった機能を新しい施設に持たせるのか、それで統廃合がどの施設になるのか、今後検討していくというところだ。

○板倉 一幸委員

- ・ 亀田交流プラザを建設するときには、亀田地域の施設を統合するという考え方で、一定程度網がかかるエリアが決まっていたが、今回の駅前再開発に当たっては、このように公共施設を設置するというときの対象のエリアというのは、エリアとしてどこどこというふうに決まるものなのか。それとも全く関係なく機能だけで判断するのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 亀田交流プラザの場合については、施設の統廃合ということで亀田地区にある7施設を統廃合したわけだが、今回、この再開発事業で整備する施設については、まず、私どもとしては、函館駅前・

大門地区にふさわしい公共施設を設置したいということだ。そうした中でどういった機能を持たせるのかについて、先ほど担当課長のほうから答弁させていただいたとおり、市民や観光客、ビジネス客、さらには世代や性別を超えた市民の方が集えるような施設を想定しており、どこのエリアのものをどう統合しようかというところから入っているわけではなくて、函館駅前・大門地区としてふさわしい公共施設とは何なのかということから入っている。その結果、新たな施設の整備になるので、基本的に将来の財政負担やランニングコストを考えたときに複数の機能を持たせるような新たな施設であれば、当然周辺の施設の統廃合が必要になるというふうに考えたところだ。

○板倉 一幸委員

- ・ 具体的にどういった検討がされていくのか見ていきたいと思う。
- ・ 中心市街地に設置される施設ということになると、公共施設だけではなくて、再開発事業そのものが中心市街地の大変重要な事業ということになると思うが、この中心市街地活性化における、あるいは結びつく事業や施設の役割については、どのように考えているのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 私どもは中心市街地活性化計画を策定し、基本的なコンセプトは今後も引き続き中心市街地の活性化につなげていかなければならないと考えているところであり、再開発事業、さらに公共施設の整備については、これまでの中心市街地活性化計画の基本コンセプトは「市民生活と歴史・文化、観光が融合した回遊性の高いまちづくり」ということなので、函館駅前・大門地区という地域の特性を考えれば、大変重要なキーとなる事業、あるいは公共施設の整備であると考えている。

○板倉 一幸委員

- ・ 特に中心市街地活性化計画に基づいて、各種事業を展開して、計画自体は終了したが、現在の状況を見るとどちらかというと飲食店が多いという地域になっているが、再開発事業が行われる周辺の事業者とはどのような協議が行われているのか。特に組合に入っている事業者は組合の中で話があるのだろうが、入っていない事業者もたくさんいると思うので、そういう事業者の皆さんとの今回の再開発事業についての協議はどういうふうに行われているのか。

○都市建設部長（佐賀井 学）

- ・ 駅前・大門地区のまちづくりを進めるに当たっては、これまでも都心商店街振興組合、また、町会などにもお集まりいただき、御意見などを伺っているところだ。また、地域の活性化につながる取組を行っているまちづくり会社のTMOとも学習会などを開いているので、そこに参加するなどして御意見、考え方を伺っているという状況だ。

○板倉 一幸委員

- ・ 中心市街地の活性化ということを考えていくと、エリア内にある事業者の皆さんが同じ考えなり、少しでも地域をよくしていこうという視点や考えを持って、お互い協力して中心市街地を活性化していこうという形がなければならないと思う。その際にそういった大きな施設ができると、その施設自体はお客さんが来たらいいのだろうが、全体としてどういう駅前・大門地区にしていくのか、あるいは中心市街地にしていくのか。そういうようなことがやはりみんな同じ気持ちになれるような協議や検討が行われていなければならないと思う。ただ学習会をやればいいということではなくて、

——学習会もちろん全員が来るわけではないだろうが——そのようなことは何かされてきたのか、あるいはされてきた結果このような状況になっているのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 私どもとすれば向かいのキラリスも含め、今回新たに計画している再開発事業、また、公共施設に関しては人の回遊性や人が集い集まるということをコンセプトにしている。こちらについてはやはり周辺の事業者の皆さんにも人が集まるということで当然相乗効果を期待しており、この施設ができたので、他が商業として成り立たなくなるということではなく、個々事業者の皆さんも人が集まることでさらに経営の事業の内容についてもブラッシュアップをしていただきたいと期待している。

○板倉 一幸委員

- ・ 実際におっしゃっているようなことが実現できるのかということについては少し疑義もあるが、それはそういうふうになっていきたいということも含めて、我々も同じように考えるので、そこはとりあえずまた別の機会でお話します。
- ・ 中心市街地活性化基本計画の事業評価の中に中心市街地の回遊性を高める取組が必要となっているので、そういう取組を改めて実施していかなければならない、あるいは企画していかなければならない。そういったことが必要だと思う。そのことについては、これも別の機会にお話しさせていただく。
- ・ 最後になるが、施設の概要が示されているが、以前に資料としていただいた令和2年2月の参考資料で、事業概要の中に——ホテルやマンションの高さの問題やそういったことも以前議論になったが、マンション棟が25階建てというのは今回も変わってないが、ホテル棟はそのときは24階建てとなっており、今回は21階建てと変更になっているが、これは何か理由なり検討によって変更すべきだということがあって変わったのか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 基本設計を進めていく中で高さは従来どおり85メートルを超えない予定だが、商業棟部分の階高が一部高くなることを踏まえ、全体の高さを抑えながら階数を調整する形になっている。建物の高さ自体は変わらないが、一部階高が高くなったことによって階数が変更になっている状態だ。

○板倉 一幸委員

- ・ 1階の高さ、床から天井までの高さを高くしているということ。それは居住性を高めるということか。それとも耐震性とか技術的なことで階高が高くなっているのか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 上の層のホテル棟や共同住宅の住居部分については、一般的な階高で抑えられているが、下の公共施設の部分やホテル棟の共用部分については一般的な天井の高さよりも高めの天井の高さが必要になるということを基本設計の中で整理した結果、こちらの階数になっている。

○板倉 一幸委員

- ・ スケジュールだが、それほど大きく変わっているということではないが、組合の設立認可から解体工事の着手まで3か月くらい遅れている。当初の計画からすると遅れているように思うが、これは今後、さらに遅れていくということはないか。3か月の遅れだけで完成や開業は変わらないということではないのか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 今、基本設計を行っているが、今後準備組合において予定している実施設計等の業務のほうで期間を短縮するなどして、全体のスケジュールに関しては影響がないように事業を進めるということで話は聞いている。

○板倉 一幸委員

- ・ 全体的には予定どおりということだ。改めてお話できる機会があればと思っているが、せっかく公共施設を造るということで、図書館機能を持たせたようなという話もあったが、例えば博物館も大分老朽化しているし、総合博物館構想も以前はあったが、そういったものも公共のスペースに持ってくるということがあれば観光客の方にも、あるいは市民の方にも非常に有効な施設だと考えているので、それについては改めてお話しさせていただく。

○富山 悦子委員

- ・ この公共施設の統廃合の理由だが、確かに適正配置や、言葉が余りにも抽象的でイメージが湧かない。複合施設としてこういう形にするという——利便性等いろいろあると思うが——地域の交流も含めてということであれば、どういうイメージで考えればいいのか。周辺の住民が毎日の生活をするような形、そこでも生活できるような体制をつくっていくのかというイメージが見えないのだが、そういう具体的なものはないのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 新たな施設の具体的なイメージということで、繰り返しになるが、先ほど担当課長のほうからもお答えしたとおり市民や観光客、ビジネス客といった方が交流できるような、例えばシエスタのGスクエア、亀田交流プラザ、こういったものを機能として持たせたいと考えているが、具体的にどういった機能をどういうふうに持たせるかということについては、今後関係事業者の方や市の関係部局と協議しながら決めていきたいと考えているところであり、基本的な方針については資料に示しているとおり、今年中——12月中には公共施設整備の方向性を公表したいというふうに考えているところだ。

○富山 悦子委員

- ・ まだ具体的ではないが、12月には公表できるようにするということだ。私から提案したいのだが、2016年12月の定例会で私どもの紺谷 克孝議員が公共施設のことで質問した際に、札幌市白石区の複合庁舎を造るときの体制について話していて、そこに住む住民を含め、専門家だけではなく、それ以外のメンバーも募り、ある程度の意見を集約する。そして若者も入れる。さらに地域の町会だとか、地域に住んでいる人に2段構えで意見を聞いて集約して、実際にえほん図書館とかすばらしいものを造って、そして区長いわく、開設した後もほとんど市民から苦情がなく、非常に利活用されていると。それが理想であり、現実に行っているもので、ぜひ市民の声を入れるようにお願いしたい。今、西部地区の開発についても若い人たちが立ち上がっている部分もあるので、そういう方たちも含めて入れてほしいなと思う。そしてパブリックコメントだけではなくて——パブリックコメントってあまりよくないですね。どこまで意見が入ってるかわからない部分がある——きちんとアンケートを取り、そして声を聞く。それをぜひ実施してほしいのだが、そういう計画はあるのか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ これから施設整備の方向性をまとめるに当たり、パブリックコメントは実施させていただこうと考えているほか、準備組合、事業者など関係者の方と意見交換などをしながらどういった施設が望ましいのか検討してまいりたいと考えている。

○富山 悦子委員

- ・ そこに住む周辺の方、町会の方、これからの若い人たちの考え方を含め、そういうものを入れるということは考えていないのか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 手法については今のところ、今お話ししたようなところで考えているが、具体的な手法については今後、今御指摘のあったことも参考にしながら検討してまいりたいと考えている。

○富山 悦子委員

- ・ ぜひ検討をお願いしたいと思う。あともう1点だが、昨年の第2回函館市都市計画審議会の議事録を見ると、その中に駐車場の問題があった。駐車場が今現在のボーニパーキングの346台、そして住居の人数、ホテルの数、広場も造るので、公共施設を使う人たちの駐車場を含めて、実際そういうところで可能なかどうか。スペース的にどういう形で対応できるのか。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 富山委員に申し上げる。今回は現段階での駅前東地区の市街地再開発の現状と公共施設設置の検討について協議している。段階を踏んで協議していくので、今回に関してはこういった内容で協議していることを踏まえて御発言願う。

○富山 悦子委員

- ・ わかった。
- ・ 是非公共施設の中に、例えば絵を描いたり、発表したりする場所が全くなって、お金がかかる場所しかないのでは、みんなが趣味などを展示できるような公共施設をぜひいれてほしいということで質問を終わる。

○山口 勝彦委員

- ・ 先程来、各委員の方、市の方から御説明があつて、重複しないように質問するが、この開発事業に関して、資料にもあるが、建物そのものは道南一の高さという認識でいるが、その中でいつも疑問に思うのが、火災に対する建築基準がどうのこうのという対策だけで対応しきれんのか、そういう問題とそれが解消されるような状態が提示されていて、それが刺激になって次の企業がまた来れるような、開発を起こせるような、周辺を変えられるようなそういう状況にできればいいのだが、函館の地盤は決してよろしいほうではないので、建物の高さ的にも非常に高いということとガラス張りの面積が結構ある。その辺の疑問もあるので、できればそういうことが解消できるような形で進めているのか、その辺を聞きたいのだが。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 防火体制とか消防法とかに関わってくるといかがか。答弁できるか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 具体的な計画案はこれからになるが、例えば地震等に関して言えば、建築基準法に基づく耐震基準というものがあるので、ある一定程度の地震には倒壊しないよう耐えられるような強度になって

おり、防火の規定に関しても建物の用途や規模に合った消防設備を取り付けることとなっており、また、津波等に関しても今回の区域が最大予想で4メートルから5メートルということで重要な機械室等は浸水しないような位置で計画するよう進めている。あとは、自家発電施設や防災備蓄倉庫などの設備も計画する予定となっている。

○山口 勝彦委員

- ・ 一番懸念するのは、災害時の火災。高層階での火災はスプリンクラーでの対応で消火ができるのか。他に新しく開発を希望する企業や参入してくる人の模範になるようなものを縦横関係なくきちんと。当然倒れるような建物では困るし、ガラス張りの問題として、地震が起きたときにガラスの破片が、下にいる観光客や市民に落下してけがをしないように、また、20階以上の高さは今の函館市の消防車両では対応できないのではないかという疑問もあるので、その辺も明確に周知したほうがいいのではないかと思う。
- ・ あともう1点、これもまた指摘されるかもしれないが、今言ったようにボーニの後に立つイオンが計画している建物、この再開発事業に関して、函館の今後を大きく左右するような建物だと思っている。また、このコロナの環境の中、厳しい状況の中皆さん頑張っているのだが、コロナが来る前に数々のホテルが設立した。函館のまちも——湾岸道路から、私もここまで来るのだが——町並みが結構変わった。そういう意味で先ほども言ったが、人の集客、観光だったりいろいろな地域、周辺の人の往来を求めるためのまちづくりを進めたいということで様々な問題を抱えているが、自治体である程度応援できるものはどんどん協議しながら進めていけばいいし、その中で変わっていけばいいのだが、ただ、その中には人口減少という問題がある。その中で最近ある新聞で函館駅に関わる第8回北海道新幹線並行在来線対策協議会が道からの要請で開催された。その中で2030年の札幌延伸に絡む新函館北斗駅から函館駅の問題とか、様々な延伸問題に関しての存続、それと併合して対応できるのか、そういうものを兼ねながら横の連携をとりながら進めていってもらいたいと思うが、その辺はいかが考えているか。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 山口委員、かなり大きくずれている

○山口 勝彦委員

- ・ 開発ということでだめか。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 今回はピンポイントで駅前東地区市街地再開発事業の現状と公共施設設置の検討についてを現在協議している段階なので、もう一般質問のようにになっている。

○見付 宗弥委員

- ・ 公共施設設置の要望が準備組合のほうから来て、市のほうとしては公共施設を設置することに決めたということで、検討はこれからスタートするということであつた。どこの建物のどの場所に建つかということだが、1ページの施設概要の商業棟の1、地上4階建ての中に1フロアが入る、あるいは2フロア、3つ4つということはないだろうが、例えばみらい館とキッズプラザ、キラリスには2フロア入っているが、イメージとしては4階建ての何フロアになるのか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 新たな公共施設の機能や役割に応じて、必要な面積を今後精査し、事業者と相談しながらフロア数に関しても検討してまいりたいと考えている。

○見付 宗弥委員

- ・ 準備組合からは4階建てのうちの1フロアは最低頼むとかということは具体的には来ているのか。あるいはそういったことを言えるか言えないかということもあるかと思うが、そのあたり具体的なものは来ているか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 現在再開発事業において、資料の商業棟1、4階建ての3、4階部分については公共公益施設を整備するという計画になっている。なので、3階、4階部分は組合としては何か公共施設や民間も含めた公益施設の設置を検討しているところであり、市に対して具体的に何フロア使っていただきたいという要望はない。

○見付 宗弥委員

- ・ 広さは先ほど課長のほうから1フロア1,300平米くらいあるということで、今調べてみるとGスクエアが1,100平米くらいなので、Gスクエアよりちょっと広いくらいの1フロアというイメージということがわかった。では、どんなものが入るのかということで、先ほどのいろいろな答弁の中で経済部長から図書館機能が核だという話があったが、イメージとして、どのようなものが入るのかということをお知らせ願う。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 図書館機能が核だということで申し上げたところだが、組合のほうからは図書館機能を有する交流機能を持つ施設を整備していただきたいということだったので、検討の核となる部分については、当然図書館機能ということになるかとは思ふ。ただ、具体的に今後交流施設にしていけるのか、図書館機能とどうマッチングさせるのかについては、今後様々な検討をする中で具現化させていきたいと考えている。

○見付 宗弥委員

- ・ 具体的に今ある施設のイメージとしては、例えばGスクエアや亀田交流プラザのようなイメージということだが、みらい館、キッズプラザは民間の建物に入ってる同じような公共的なスペースだが、こちらは主に子ども向けであり、私も子どもを連れて何回か行ったが、行けばそこでずっと遊んで、終わったら帰るというような感じのイメージだ。亀田交流プラザはバスの待合スペースの意味合いもあるし、先ほど板倉委員からもあったが、本を読むようなスペースもあるということで、Gスクエアのほうも例えば高校生が学校の勉強をするというような形で、人が集い集まるという意味でGスクエアや亀田交流プラザというイメージをおっしゃってるのだと思うが、もう少し具体的に今話した以上の機能などのイメージがあれば教えていただきたい。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 向かいのキラリスのキッズプラザ、みらい館等を引き合いに出されているが、基本的に私どもは入館施設や観覧施設といったものよりは先ほど担当課長から申し上げたとおり、Gスクエアや亀田交流プラザといった交流をするようなものを想定しているところであり、よりイメージしやすいと

ということで具体の施設名称を挙げさせていただいたところであり、これ以上具体的に何かあるかという現時点ではなかなかお答えするのは難しいところだ。

○見付 宗弥委員

- ・ みらい館やキッズプラザは入館料を払って、チケットを買って入ると。Gスクエアや亀田交流プラザはチケットを買う必要はないし、帰りたくなったら帰れるし、来たくなったら来れるという、そういう役割の違いということで、それは理解できた。先ほど富山委員からもあったが、今、市として他都市の先行事例を調査しながら検討していくということだが、パブリックコメントはやろうと思っていると、関係者の皆さんとの話し合いもやろうと思っていると、ただ、パブリックコメントはもう大体できていて、これはどうですかと出た時点では、例えば図書館はどうですかと、図書館はやめたほうがいいと言ってもなかなか図書館と案が出てから変えるのは難しいと思うので、イメージとしては例えば市民全体に駅前はどういう公共施設がほしいかですか、というような、市民全体なのか西部地区なのか駅前地区なのかかわからないが、そんな形の一般市民の皆さんのアンケートなり意向を聞くというようなことはやるということは考えているのか。

○経済部長（小林 利行）

- ・ 現時点で函館市としてどういった公共施設が望ましいのかという原案を示す必要があるのかなということで、関係される事業者の方や庁内の関係部局ともどんな機能が必要なのか、こういったことでまずは原案をお示しさせていただきたい。これが大体本年中にはお示しさせていただきたい。その後、例えば統廃合を検討するような施設があれば、その統廃合の施設の関係団体やそういった方からの御意見を聞きたいと思っており、先ほど担当課長のほうから答弁させていただいたが、住民からの声を聞くという部分についても改めて検討してみたいと思う。公共施設を設置するに当たり、全市民を対象にアンケート的なものを実施するということになると現時点では原案がない中ではなかなか難しいことだと思われ、現時点ではそういったところは想定していないところだ。

○見付 宗弥委員

- ・ 確かに何もたたき台もないまま何がいいのかというのは、例えば水族館や観覧車が欲しいとか、ここは室内なので室内で見れる小さい水族館が欲しいというようないろいろな意見がランダムにとると出てくる可能性はあると思うが、ただ、市のほうとしては、案はこうだと出せば、それがいい悪いという話になると思うので、タイミング的に難しいと思うが、なるべく多くの人の希望なり意見を聞き取るということをぜひ御尽力いただきたいと思います。
- ・ 最後に質問ではなく、意見なのだが、中心市街地活性化基本計画、それからグリーンベルトも今凍結になっている。あるいは大門パーキングだとか駅前それから大門全体を見るとこれからどういうふうにまちづくりをしていくかという方向性がなかなか定まっていないのではないかと私は思う。駅前をこういうふうにするべきだという案が必要ではないかという話をしても個別の民間のところがかんばっているということで市としてはこういうふうにしていくんだという案が中心市街地活性化基本計画以降はないというイメージを持っているが、公共施設の統廃合も含めて、個別にここに何をいれようというのではなくて、駅前をこういうところにしていくんだという全体像が市としての考え方、市だけではなくて地域の人、地域以外の市民全体の皆さんの意見も必要だと思うが、

そういうこともこれからやはり必要だなということを改めて感じたところだ。これは質問しないので、また別の機会でそういうことも含めて取り組んでいきたいと思っている。

○荒木 明美委員

- ・ 1点だけ確認させていただきたいのだが、今何度も出ている交流機能という言葉なのだが、そもそも準備組合で最初に市に要望があった交流機能というのは、具体的にどんなものを指して要望されていたのか、それとも単に交流機能という言葉だけでの要望だったのか。準備組合としてのイメージを教えていただきたい。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 先ほど少し答弁させていただいた部分と重複する部分があって申し訳ないのだが、準備組合の中ではホテルやマンション、市民広場などそういった再開発事業を検討している中で再開発の事業効果を高めるためにはどういったものがあるのかということでマンションは住民のため、ホテルはどちらかというと観光客やビジネスの方のためという事業になるので、市民がそこでどういう使い方をされるのかということが、準備組合が気にしているところであり、市民の皆さんが使えるような商業施設や市民広場と連携して集客性の向上につながるような交流機能を有する公共施設を誘致したいという要望で、具体的にどういった交流といったまでの要望はなかった。

○工藤 篤委員

- ・ 1点確認したいのだが、先ほど全体の事業費が190億円、市は補助金として25億円予定しているおっしゃったが、それは確認していいか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）（うなずく）

○工藤 篤委員

- ・ その補助金の原資はどのように考えているか。つまり市の丸々の持ち出しなのか、国等からの助成金が入っているのか、その辺はいいかがか。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 事業全体の補助金としては50億円になる。国と市で半分ずつで、函館市の分の補助金としては25億円になる。

○工藤 篤委員

- ・ 補助金としては50億円。しかしそれは国から半分、市が半分ということだ。市の25億円の原資はどこから用立てすると考えているのか。例えば基金から持ってくるとかいろいろあると思うが。財源調達をどうするかだ。大枠でいい。コンクリートのものでないだろうから。

○建築行政課長（堀部 亜矢子）

- ・ 起債と一般財源で25億円の予定をしている。

○工藤 篤委員

- ・ つまり税金ということか。市債といってもそれは借金で、最終的には市民からの税金で払うという理解でいいですね。
- ・ もう1点だが、これは全体の建物に対する補助金で、しかし市が公共施設として——借りるのか買うのかわからないが、それに対してはどの程度を予定しているのか。つまり25億円の中で収まる

ものではなくて、それ以上かかるわけですね。まだ未確定なので何とも言えないだろうが、その辺はどのように考えているか。

○商業振興課長（東出 瑞乃）

- ・ 公共施設の整備の事業費は今お話しした再開発事業の補助金の他にかかるものと想定している。

○工藤 篤委員

- ・ もちろん想定しているのだろうが、どれくらいの枠内を考えているとか、そこまでは検討に入っていないという理解でいいか。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ それはちょっと。工藤委員申し訳ない。

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 他に発言あるか。（なし）
- ・ 理事者にはご退出願う。

（経済部・都市建設部 退室）

- ・ その他、本件について、各委員から何か発言はあるか。（なし）
 - ・ 議題終結宣告
-

2 その他

○委員長（出村 ゆかり）

- ・ 各委員から何か発言あるか。（なし）
- ・ 散会宣告

午前11時07分散会